

大会日程 第2日 10月31日(日) 9:00~17:00

■ 研究発表1 9:00~10:40 [zoom A会場、zoom B会場]

	1-A [zoom A会場] 司会：小日向英俊	1-B [zoom B会場] 司会：前原恵美
9:00 9:30	三代真理子 → 10頁 ズスマン・キセルゴフの手稿譜から見えてくる、20世紀初期の東欧ユダヤ人社会のクレズマー・レパートリーと演奏様式	吉岡倫裕 → 13頁 伝隆然『声明集略頌』にみる諸曲の音高関係—本調子と空調子の問題—
9:35 10:05	米山知子 → 11頁 アレヴィーの音楽実践におけるメディア利用の諸相—オーストラリア在住トルコ出身アレヴィーのオンライン活動から—	丹羽幸江 → 14頁 世阿弥自筆譜《江口》「サウカフシ」への早歌真曲抄《対揚》の影響
10:10 10:40	鈴木麻菜美 → 12頁 メディアによる音楽発信がもたらす社会的効果—トルコのマスメディアにおけるアレヴィー音楽の事例から—	鳥谷部輝彦 → 15頁 新楽定著『琴家略伝』の自筆本と伝本—『東皐琴譜』の十九世紀資料—

10:40~10:50 休憩

■ 研究発表2 10:50~12:30 [zoom A会場、zoom B会場]

	2-A [zoom A会場] 司会：金城厚	2-B [zoom B会場] 司会：竹内有一
10:50 11:20	三島わかな → 16頁 変わるごとと、変わらないこと—大正の大嘗祭「悠紀斎田・主基斎田」の御田植芸能の継承を事例に—	中川優子 → 19頁 日本近世前期の知識人と「楽」の「器」
11:25 11:55	アンニ → 17頁 奄美島唄の変容とメディア—唄者・坪山豊を例として—	青木慧 → 20頁 江戸文人がとらえた吉原遊廓とその周辺—音楽情報を記録するということ—
12:00 12:30	古澤瑞希 → 18頁 佐賀県嬉野市塩田町久間周辺に伝承される鉦浮立におけるメディアを用いた伝承活動の様相と今後の展望	笠井純一・笠井津加佐 → 21頁 花街舞踊復元の意義と可能性—「北陽浪花踊」の映像資料と音源を素材として—

12:30~13:20 休憩

■研究発表3 13:20~15:00 [zoom A会場、zoom B会場]

	3-A [zoom A会場] 司会：福岡まどか	3-B [zoom B会場] 司会：植村幸生
13:20	孫 瀟夢 → 22頁 1970 - 80年代における民音の日中音楽 交流活動 —北京芸術団とシルクロード 考察団を例に—	金 志善 (代表)・山本華子・金 秀賢 (非 会員)・李 竣熙 (非会員)・李 智叡 (非 会員)
13:50		→ 25頁 韓国近代音楽におけるメディア関連研 究の現況 (14:50終了)
13:55	田井みのり → 23頁 現代日本の葬儀と音楽—「音楽葬」に おける記憶と感情をめぐって—	
14:25		
14:30	井上春緒 → 24頁 パンジャブ・ガラーナーとジョー リーから見る北インドの打楽器の歴史	
15:00		

15:00~15:10 休 憩

■研究発表4 15:10~16:50 [zoom A会場、zoom B会場]

	4-A [zoom A会場] 司会：塚原康子	4-B [zoom B会場] 司会：梶丸 岳
15:10	仲辻真帆 → 26頁 明治期の東京音楽学校とオペラ上演— 《オルフォイス》初演とその後の展開 —	我妻琴休 → 29頁 篠笛の奏法に関する—考察—古典調三 管等、邦楽調、ドレミ調の音律を中心 に—
15:40		
15:45	古徳景子 → 27頁 日本におけるマリンバの発展と展望— 歴史的背景の考察より—	神野知恵 → 30頁 みんぱく村に神楽がやって来る！—伊 勢大神楽ワークショップの記録— (映像発表質疑応答 15:55終了)
16:15		
16:20	武田有里 → 28頁 明治期の小学校教育における楽器を用 いた行進と礼—教授法書や楽譜にみら れるその役割—	
16:50		

16:55~17:00 閉会の辞 大会実行委員長 岡田恵美 [zoom A会場]